

平成30年度 指定管理者導入施設評価表

| | | | | |
|------------------|--|--------|----------|-----------|
| 施設名称 | 須坂市旧小田切家住宅 | | 所管課(TEL) | 生涯学習スポーツ課 |
| 所在地 | 須坂市大字須坂423番地1 | | 設置年月 | 平成28年3月竣工 |
| 施設設置目的 | 須坂市旧小田切家住宅の保存を図り、広く公開及び活用するとともに、生涯学習と憩いの場を提供し、市民文化の向上に資するため。 | | | |
| 施設概要・設備 | 木造・地上一部2階(須坂市指定有形文化財) 敷地面積 1325.11㎡、延床面積 940.82㎡ 主屋、上店、店、表門、土蔵(一号・二号・三号・四号)、水車小屋 向こうの家、車寄せ | | | |
| 指定管理者名(選定方式) | 一般財団法人 須坂市文化振興事業団(公募しない) | | | |
| 指定期間 | 平成28年4月1日から平成33年3月31日まで(5年間) | | | |
| 指定管理者の主な業務 | (1) 利用の許可、許可の取消し並びに利用の制限及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のために実施する事業に関する業務 | | | |
| 施設の利用状況 | 利用区分等 | 利用目標 | 利用実績 | 対前年比(%) |
| | 利用者数 | — | 12,104人 | 107.0 |
| | | | | |
| | (特記事項) 利用目標は、五次総後期基本計画では、毎年0.5%増を評価指標としている。 | | | |
| 指定管理者の 予算及び決算 | 項目 | 予算額(円) | 決算額(円) | |
| | 指定管理料 | | | |
| | 利用料収入 | | | |
| | 支出額合計 | | | |
| (特記事項) 文化会館に同じ | | | | |

2 市（担当課）による評価 （評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

| 項目 | 指 標 | 評価 | 評価に対する説明 |
|--------|---------------|----|--|
| 管理状況 | 開館時間、休館日の運用 | ◎ | 休館日をアートパーク施設とずらしている |
| | 法令の遵守 | ◎ | 定款等により遵守している |
| | 適正な人員配置 | ○ | |
| | 職員の労働環境確保 | ○ | |
| | 職員の研修・教育 | ○ | |
| | 文書・帳簿の管理保存 | ○ | |
| | 報告書等の提出 | ○ | |
| | 口座管理・経理 | ◎ | 適正に管理している |
| | 施設の使用許可・条件 | ◎ | 適正に管理している |
| | 備品の管理 | ◎ | 適正に管理している |
| | 清掃業務 | ◎ | 適正に管理している |
| | 環境への配慮 | ○ | |
| 危機管理対策 | 緊急事態の対応 | ◎ | 危機管理マニュアル等に対応している |
| | 安全への配慮 | ◎ | 危機管理マニュアル等に対応している |
| | 個人情報の保護 | ◎ | 須崎市個人情報保護条例（平成13年条例第35号）第12条の2の規定を遵守している |
| | 施設設備の保守管理 | ◎ | 主管課と密な相談をしている |
| | 重要事項の報告・連絡・届出 | ◎ | 主管課と密な相談をしている |
| | 保険の加入 | ◎ | 協定書に基づき加入している |
| | 管理物件に対する損害賠償等 | ○ | |
| 運営状況 | 施設利用状況 | ○ | |
| | 自主事業実施状況 | ○ | |
| | 地域との連携 | ○ | |
| | その他取組み | ○ | |
| | 管理に係る収支状況 | ◎ | 喫茶、物販を積極的に行っている |
| | 自主事業に係る収支状況 | ○ | |
| | サービス向上への取組み | ○ | |
| | PR等広報活動 | ○ | |
| | 苦情・要望への対応 | ◎ | アンケート等に対応している |

3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

| | | |
|-----------------|---|-------------|
| 利用者アンケートの結果 | 実施時期 | 平成30年度 |
| | 調査対象 | 来館者 |
| | 調査方法 | アンケート用紙記入方式 |
| | 調査結果 | 237人回答 |
| 利用者からの意見・要望・苦情等 | <ul style="list-style-type: none"> ・勉強になりました。須坂市がもっと好きになりました。 ・ていねいに説明とおもてなしの心に文化財とともにふれることができました。初めて須坂に来ました。印象に残った言葉「桃」「多羅葉」 ・静かに本を読める雰囲気が好きです。子供達はパンフレットの印を探すのが好きです。 ・子供に水車を動かしてみせると良い。おやきメニューがあると嬉しいです。 ・隠れた見所がもっとある気がする程いい建物だと感じました。とてもきれいに保存されていて、感謝いたします。 ・立派な建物で昔の栄華がしのべれます。丁寧な御案内でした。また、訪れたいと思います。 ・秋のひと時をギターの音色にいやされた心安らぐ時間ありがとうございました。又機会がありましたら参加したいと思います。(10/12 ふれあいギター演奏会) ・お芋のお菓子、家でも作ってみたいです。小学生も初めてお菓子作りや茶せんを体験できて楽しかったようです。(11/23 お抹茶体験と季節の和菓子作り体験) ・コーヒーとお菓子と入場料のセットがよかったです。とてもきれいで心が落ち着くところでした。ご案内とても親切でした。ありがとうございます。 ・ワークショップいっぱいやってほしいです。 ・おこたつが家庭的で温かな気持ちになりました。 ・おひなさまがすてきでした。 ・重ね煮ちらし寿司素材の味がひきたつやさしい味でした。又食べたいです。 ・日本の建築技術、美意識が素晴らしい。もっと大勢の人に見てほしいです。 ・須坂の町をゆっくり歩く良い機会になりました。 | |

4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

| | |
|-------------|--|
| 平成30年度の自己評価 | <ul style="list-style-type: none">・昨年同様、生活文化の普及を軸に、ワークショップ、文化講縁会、重ね煮ランチ、企画展示などを実施し、平成30年度は、新たに親子で参加できるワークショップを増やし、若年層のリピーターを増やすことができた。また、当館の事業を広く市民にご理解いただき周知することができた。・夏場の館内及び土蔵の高温に対処できず。課題である。・開館し3年がたったので、イベント的な事業だけでなく、須坂の文化について発信できるよう考えていくことが必要であると考え。3年間手付かずの富士通倉庫に眠る、小田切家で使用していた所蔵品を整理し、文化に通ずる企画展を行うことが重要と考える。 |
|-------------|--|

5 市（所管課）による総合評価

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・施設の管理、危機管理は良好・平成30年度の入館者数は前年度対比107.0%、利用料収入は前年度対比96.6%とほぼ横ばいとなっている。今後も創意工夫により堅持していただきたい。 |
|--|